

事前評価調書

I 事業概要																																																														
事業名	道路事業（無電柱化事業）																																																													
地区名	一般国道 248 号（ <small>とよた ほうえいちょう</small> 豊田市豊栄町（その2）工区）																																																													
事業箇所	<small>ほうえいちょう</small> 豊田市豊栄町																																																													
事業のあらまし	<p>一般国道 248 号は、豊田市の市街地を南北に縦断する防災上重要な路線であり、第 1 次緊急輸送道路に位置付けられており、電柱倒壊により車線が分断されることで、災害時の復旧等へ影響が出るのが考えられる。</p> <p>こうした背景から、本事業は電線共同溝を整備することにより、地域の防災性強化を図るものである。</p>																																																													
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①地域の防災性強化</p> <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p> <p>-</p>																																																													
事業費	事業費			内訳																																																										
	6.8 億円			■工事費 6.4 億円、口用補費 億円、						■その他 0.4 億円																																																				
事業期間	採択予定年度	2021 年度	着工予定年度	2022 年度	完成予定年度	2031 年度																																																								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 電線共同溝設置 L=0.76 km（整備延長） 																																																													
II 評価																																																														
①事業の必要性	1) 必要性	第 1 次緊急輸送道路に指定されている一般国道 248 号で、地震や防風等の発生により電柱が倒壊し通行が不能になると、緊急物資の輸送等に大きな影響が生じる恐れがあるため、無電柱化の推進が必要である。																																																												
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>第 1 次緊急輸送道路の防災機能強化のため、事業実施が必要である。</p>																																																											
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> <th>2029</th> <th>2030</th> <th>2031</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工種 区分</td> <td>測量・ 設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td colspan="8">←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">2.6</td> <td colspan="6">4.2</td> <td>6.8</td> </tr> </tbody> </table>													2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	合計	工種 区分	測量・ 設計	←→											工事			←→									事業費（億円）		2.6			4.2						6.8
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	合計																																																	
	工種 区分	測量・ 設計	←→																																																											
工事				←→																																																										
事業費（億円）		2.6			4.2						6.8																																																			
2) 地元の合意形成	現道内での整備であり、地域の防災性向上につながる事業であるため、地元の合意形成は円滑に図られる環境にある。																																																													
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p>【理由】</p> <p>円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性が期待できる。</p>																																																												

Ⅲ 対応方針

事業実施が
妥当である

事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。
事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。

Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

・ 防災上の支障となる要素の解消